



2016年6月23日 No. 257

公的保育制度の拡充を!

保育職場の 人員不足解消は 喫緊の課題!

保育園に入所ができないなかった保護者のブログが大きな世論へとつながり、国は3月に待機児童解消緊急対策を発表し、各自治体でも待機児童解消に向けての動きが見られます。

一方で、保育士不足解消の方策として保育士資格の規制緩和など、保育の質の低下が危惧される施策も国は打ち出しています。基準を緩和しての正規職員の配置をしつかりと行うことなど、公的保育制度の拡充が今こそ求められます。



滋賀県子ども青少年局への要請



大津市労連保育班 100名の参加で総会を開催

大津市では、求めていく取り組みを強めようと確認しました。保育班では毎年、市長あてに要書を提出し担当課との交渉も実施しています。現場の実態をより強く訴え、世論を広げていくことが必要です。

日々の保育を行っており、人員増による改善が喫緊の課題となっています。

5月18日の保育班の総会では、国からの保育士配置や資格についての規制緩和によって待機児童を解消していくことを自治体に求めた通知が出されていることについての情勢学習会も行いました。子ども子育て支援新制度が進められているなか、公立保育園が果たしていく役割を守り、保育の質の向上を高めていくためにも、日々の保育実践を土台に公的保育制度の充実を行っています。



総会のようす

最低賃金を1,500円に 実質賃金は4年連続で マイナス

現場職員が目を向けなければ、問題は解決しない

5月20日、労働法制改革阻止や最低賃金大幅引上げなどをめざして、全労連と国民春闘共同委員会は国会周辺で中央行動を展開し、全国各地から700人、滋賀自治労連か

らも10人が参加しました。総務省前では、臨時・非常勤職員の待遇改善、公務員賃金改悪、恒久的な公務員賃下げを押しつける「給与制度の総合的見直し」の中止を求めてきました。



総務省前でのシュプレヒコール

豊郷町職労が職場アンケートを実施 子どもたちに夢、職員が希望もてる 人員増不可欠

豊郷町職労が4月に行なったアンケートによると、幼稚園や保育所では、人員不足のため、職員同士のコミュニケーションなどに改善が図られています。

職員のモチベーションを保ち、課題を乗り越えていくためには、すべての職員がい、仕事を続ける糧となっています。

の笑顔・成長や保護者との共感が、職員の誇りとやりがい、仕事を続ける糧となっています。

5月21日、介護の全国学習交流集会に参加しました。全国の介護の現場は国会周辺で中央行動を展開し、全国各地から700人、滋賀自治労連か

らも10人が参加しました。総務省前では、臨時・

非常勤職員の待遇改善、公務員賃金改悪、恒久的な公務員賃下げを押しつける「給与制度の総合的見直し」の中止を求めてきました。

5月21日、介護の全国学習交流集会に参加しました。全国の介護の現場は国会周辺で中央行動を展開し、全国各地から700人、滋賀自治労連か

